

科目名	科学英語 (FB15U120)
英文科目名	Scientific English III
担当教員名	笠本晃代* (かさもとてるよ*)
対象学年	3年
開講学期	春学期
曜日時限	金曜日 1時限
対象クラス	理学部(～15),工学部(～15),総合情報学部(～15),生物地球学部(～15)
単位数	2.0
授業形態	講義

回数	授業内容
1回	オリエンテーション(講義の進め方や成績評価などの説明)を実施する。Pre-Unitの問題を 実践する。Reading Skillを理解する。
2回	Unit 1 Science and Communication を精読し、重要構文・表現を学習する。
3回	Unit 1 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
4回	Unit 2 Engineered Sakura を精読し、重要構文・表現を学習する。
5回	Unit 2 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
6回	Unit 3 Science for Everyone を精読し、重要構文・表現を学習する。
7回	Unit 3 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
8回	Unit 3 までの本文に関する質疑応答と学習内容の確認をし、中間的な評価をするための試験を実施する。
9回	Unit 4 Galileo を精読し、重要構文・表現を学習する。
10回	Unit 4 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
11回	Unit 5 Information を精読し、重要構文・表現を学習する。
12回	Unit 5 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
13回	Unit 6 The Advent of Writing を精読し、重要構文・表現を学習する。
14回	Unit 6 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
15回	Unit 7 Perspective を精読し、重要構文・表現を学習する。
16回	Unit 7 までの本文に関する質疑応答と学習内容の確認をし、最終評価試験を実施する。

回数	準備学習
1回	履修ガイドに記載された英語科目に関連する説明を読んでおくこと。(標準学習時間30分)
2回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
3回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
4回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
5回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
6回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
7回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
8回	学習内容を総復習し、分からない箇所を質問できるようにしておくこと。(標準学習時間120分)
9回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
10回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
11回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
12回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
13回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
14回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
15回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
16回	これまで学習した内容の整理と復習をしておくこと。(標準学習時間120分)

講義目的	1・2年次で習得した英語力を補強し、一般学術目的の英語の基礎力を身につけることを目指す。
------	--

	(教養教育センター単位認定方針のAにもっとも強く関与する)
達成目標	語彙や文法を理解し、専門分野に関連した一般的な英文が読解できること。
キーワード	Reading, Writing, Science, Technology
成績評価（合格基準60	課題40%、中間試験30%、最終評価試験30%により成績評価し、総計で60%以上を合格とする。
関連科目	英語Ⅰ,Ⅱ,科学英語Ⅰ,Ⅱ,Ⅳ、TOEICセミナー
教科書	サイエンス・コミュニケーション / 谷口真理 / 朝日出版社 / 9784255155791
参考書	講義の中で適宜指示する。
連絡先	C1号館1階 非常勤講師室
注意・備考	毎回、辞書を持ってくる。課題提出や小テストがある場合、講義中での模範解答の説明・配布などによりフィードバックを行う。講義資料がある場合、講義中に配布するが、特別な事情がない限り、後日の配布には応じない。講義中の録音／録画／撮影は、原則、認めないが、特別な理由がある場合は事前に相談すること。この講義ではアクティブラーニングの一環としてグループワークあるいはグループディスカッションを行う場合がある。
試験実施	実施する

科目名	科学英語 (FB16U120)
英文科目名	Scientific English IV
担当教員名	笠本晃代* (かさとてるよ*)
対象学年	3年
開講学期	秋学期
曜日時限	金曜日 1時限
対象クラス	理学部(～15),工学部(～15),総合情報学部(～15),生物地球学部(～15)
単位数	2.0
授業形態	講義

回数	授業内容
1回	Unit 8 Insight の語彙、文法事項に注意しながら、本文を読み概略をつかむ。内容、文法事項等についての練習問題をする。CDを聴き、音読をする。
2回	Unit 8 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
3回	Unit 9 Scientific Activity を精読し、重要構文・表現を学習する。
4回	Unit 9 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
5回	Unit 10 Into the Future を精読し、重要構文・表現を学習する。
6回	Unit 10 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
7回	Unit 11 Through Occupation を精読し、重要構文・表現を学習する。
8回	Unit 11までの本文に関する質疑応答と学習内容の確認をし、中間的な評価をするための試験を実施する。
9回	Unit 12 Robots を精読し、重要構文・表現を学習する。
10回	Unit 12 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
11回	Unit 13 Technology を精読し、重要構文・表現を学習する。
12回	Unit 13 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
13回	Unit 14 In Rome を精読し、重要構文・表現を学習する。
14回	Unit 14 の設問をグループごとに解き、発表するアクティブラーニングを行う。
15回	Unit 15 Water Crisis を精読し、重要構文・表現を学習する。
16回	Unit 15までの本文に関する質疑応答と学習内容の確認をし、最終評価試験を実施する。

回数	準備学習
1回	予習としては、本文を読み、分からない単語や熟語等の意味を辞書で調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間90分)
2回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
3回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
4回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
5回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
6回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
7回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
8回	学習内容を総復習し、分からない箇所を質問できるようにしておくこと。(標準学習時間60分)
9回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
10回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
11回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
12回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
13回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
14回	重要構文・表現を復習し、練習問題を解いておくこと。(標準学習時間120分)
15回	本文を読み、分からない語を調べておくこと。専門分野で用いられる表現・構文をまとめておくこと。(標準学習時間120分)
16回	学習内容を総復習し、分からない箇所を質問できるようにしておくこと。(標準学習時間60分)

講義目的	科学英語IIIをもとに、一般学術目的の英語を身につけることを目指す。(教養教育センター単
------	--

	位認定方針のAにもっとも強く関与する)
達成目標	科学英語IIIを踏まえて、専門分野に関連した一般的な英文が読解でき、簡単な要約が日本語で書けること。
キーワード	Reading, Writing, Science, Technology
成績評価（合格基準60	課題40%、中間試験30%、最終評価試験30%により成績評価し、総計で60%以上を合格とする。
関連科目	英語 I, II, 科学英語 I, II, III、TOEICセミナー
教科書	サイエンス・コミュニケーション / 谷口真理 / 朝日出版社 / 9784255155791
参考書	講義の中で適宜指示する。
連絡先	C1号館1階 非常勤講師室
注意・備考	毎回、辞書を持ってくる。課題提出や小テストがある場合、講義中での模範解答の説明・配布などによりフィードバックを行う。講義資料がある場合、講義中に配布するが、特別な事情がない限り、後日の配布には応じない。講義中の録音 / 録画 / 撮影は、原則、認めないが、特別な理由がある場合は事前に相談すること。この講義ではアクティブラーニングの一環としてグループワークあるいはグループディスカッションを行う場合がある。
試験実施	実施する